

資料1 水道事業会計決算の推移

(単位：円)

事業区分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業収益	2,692,401,305	3,076,527,896	3,198,253,125	3,074,819,135	3,074,300,648	3,014,937,027	3,119,386,000	3,112,926,284	3,205,595,342	3,126,020,336
営業収益	2,641,192,491	3,043,834,517	3,168,194,306	3,062,934,268	3,061,597,276	3,003,118,587	3,107,827,000	3,103,922,819	3,083,582,998	3,088,052,361
うち水道料金収入	2,554,097,927	2,881,694,762	2,873,665,051	2,837,008,321	2,837,271,683	2,779,636,207	2,862,641,314	2,868,800,956	2,842,795,305	2,835,787,801
営業外収益	24,608,314	32,693,379	30,058,819	11,884,867	9,692,198	4,161,239	4,886,000	8,562,948	76,266,344	13,773,320
特別利益	26,600,500	0	0	0	3,011,174	7,657,201	6,673,000	440,517	45,746,000	24,194,655
事業費	2,684,263,833	2,802,663,760	3,056,023,502	3,042,176,415	3,002,673,715	2,862,388,165	2,962,493,700	2,814,849,241	2,843,332,823	2,771,920,341
営業費用	2,454,663,286	2,591,145,089	2,774,635,562	2,761,462,443	2,743,591,430	2,619,780,867	2,708,062,096	2,620,346,236	2,676,257,670	2,587,040,111
営業外費用	228,478,851	208,783,298	280,181,476	265,893,742	257,457,555	240,665,791	249,978,317	192,155,685	164,657,479	182,334,238
特別損失	1,121,696	2,735,373	1,206,464	14,820,230	1,624,730	1,941,507	4,453,287	2,347,320	2,417,674	2,545,992
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収入	1,353,534,521	1,506,264,368	575,073,810	408,993,381	346,224,570	245,703,671	319,997,488	397,809,639	772,737,987	200,276,902
企業債	673,000,000	1,058,000,000	10,000,000	101,000,000	0	0	0	0	401,000,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	18,000,000	2,000,000	1,000,000	170,900,000	194,579,000	0
出資金	74,444,126	79,716,217	83,455,730	92,234,437	99,475,464	95,690,585	102,184,506	84,488,000	60,301,475	45,366,896
寄附金	45,593,900	12,309,863	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金	296,751,495	287,513,688	250,509,280	124,140,144	141,072,940	70,352,357	105,881,532	53,239,356	33,701,712	62,776,288
加入金	263,445,000	68,724,600	141,108,800	91,618,800	87,633,000	76,570,200	110,926,200	88,804,800	83,155,800	92,051,400
固定資産売却代金	300,000	0	0	0	43,166	1,090,529	5,250	377,483	0	82,318
資本的支出	1,482,296,272	2,106,402,496	913,037,741	832,823,803	877,311,473	776,733,232	689,495,054	1,591,684,637	3,454,891,108	1,756,483,535
建設改良費	1,360,398,954	1,979,535,138	778,078,876	661,250,724	690,448,686	572,302,024	462,479,820	1,316,521,558	3,208,272,875	1,266,288,812
企業債償還金	121,897,318	126,867,358	134,958,865	171,573,079	186,862,787	204,431,208	227,015,234	275,163,079	246,618,233	490,194,723

- ①事業収益は、毎年31億円程度となっている。営業収益は、ここ数年は減少傾向にある。
- ②水道料金収入は28億5千万円程度で推移していたが、ここ数年は水需要量の低迷により減少傾向にある。平成10年の料金改定により平成11年度から増額となっている。
- ③事業費は、毎年28億円前後となっている。事業費のうち営業費用の占める割合は93%程度である。水道料金収入で事業費を概ね賅っている。
- ④営業外費用は、主に国等から借り入れた企業債の支払利息である。
- ⑤資本的収入は、企業債や国庫支出金の有無で変動している。平成18年度は鍵山浄水場の改築に伴う企業債を借り入れたことが増額要因である。
- ⑥資本的支出は、平成10、11年度は藤沢配水場の建設、平成17、18年度は鍵山浄水場の改築、平成19年度は東金子配水場の改修により増額となっている。
- ⑦企業債償還金は、企業債の元金にかかる償還金で、平成19年度は繰上償還分約2億4千万円が含まれている。
- ⑧資本的収入が資本的支出に不足する額は、平成12～16年度の平年で3億円から5億円程度となっている。不足する額は損益勘定留保資金、減債積立金等で補てんしている。
- ⑨事業費と資本的支出を合計した決算規模については、平成18年度を除いて40億円前後で推移している。

資料2 業務指標の推移

区 分	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
給水区域内人口(人)	146,199	146,555	147,847	148,902	149,271	149,630	149,907	149,635	149,779	149,894
給水人口(人)	146,069	146,418	147,710	148,765	149,134	149,562	149,830	149,556	149,700	149,820
普及率(%)	99.90	99.90	99.90	99.90	99.91	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95
配水量(m ³)	18,436,370	18,631,286	18,422,927	18,281,458	18,111,957	17,878,264	18,237,543	18,171,794	18,174,788	17,699,486
うち自己水(m ³)	1,131,920	1,114,380	907,900	836,350	648,890	383,380	51,270	0	121,470	2,707,810
うち県水(m ³)	17,304,450	17,516,906	17,515,027	17,445,108	17,463,067	17,494,884	18,186,273	18,171,794	18,053,318	14,991,676
配水量に対する自己水の割合(%)	6.14	5.98	4.93	4.57	3.58	2.14	0.28	0.00	0.67	15.30
配水量に対する県水の割合(%)	93.86	94.02	95.07	95.43	96.42	97.86	99.72	100.00	99.33	84.70
一日最大配水量(m ³)	61,260	59,090	58,641	58,340	58,324	54,912	57,809	54,063	54,913	53,316
一日平均配水量(m ³)	50,511	50,905	50,474	50,086	49,622	48,848	49,966	49,786	49,794	48,359
一人一日当たり配水量(ℓ)	345.8	347.7	341.7	336.7	332.7	326.6	333.5	332.9	332.6	322.8
有効水量(m ³)	17,331,202	17,429,627	17,316,538	17,202,656	17,236,549	17,028,071	17,370,522	17,381,426	17,408,873	17,218,565
有収水量(m ³)	16,932,614	16,984,425	16,907,813	16,798,127	16,829,651	16,635,235	16,949,670	16,966,550	16,857,349	16,838,926
有効率(%)	94.00	93.55	93.99	94.10	95.17	95.24	95.25	95.65	95.79	97.28
有収率(%)	91.84	91.16	91.78	91.89	92.92	93.05	92.94	93.37	92.75	95.14
総収支比率(%)	100.3	107.3	104.4	100.5	101.9	105.3	117.1	110.6	112.7	112.8
営業収支比率(%)	107.6	115.3	111.9	108.7	109.4	114.6	116.0	118.5	113.1	119.4
経常収支比率(%)	99.4	109.9	104.7	101.6	102.3	105.1	106.4	110.7	111.2	112.0
供給単価(円)	143.67	161.59	161.87	160.85	160.56	159.14	160.85	161.04	160.65	160.41
給水原価(円)	153.16	160.51	172.74	172.69	170.83	164.85	166.56	160.22	164.08	159.19
料金回収率(%)	93.80	100.67	93.71	93.14	93.99	96.54	96.57	100.51	97.91	100.77
施設利用率(%)	77.0	71.1	72.7	72.1	71.5	70.3	70.8	92.1	69.2	67.2
施設最大稼働率(%)	93.3	82.5	84.4	84.0	84.0	79.1	81.9	100.0	76.4	74.1
負荷率(%)	82.5	86.1	86.1	85.9	85.1	89.0	86.4	92.1	90.7	90.7

- ①普及率は、給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合で99.95%となっている。一部で地下水を利用している世帯があるが市内全域に普及している。
- ②配水量は、平成15年度を除き、毎年1,800万m³を確保していたが、平成19年度は1,770万m³と大幅に減少している。
- ③配水量に対する自己水の割合は、年々減少傾向にあったが、平成19年3月に新しい鍵山浄水場が完成したことから平成19年度は15.3%となっている。
- ④一日最大配水量は、年間一日配水量のうち最大のものをいう。平成10年度は6万m³を超えていたが、ここ2、3年は5万4,000m³前後となっている。
- ⑤一日平均配水量は、年間に配水した配水量をその間の日数で割ったもので、平成14年度以降は4万9千m³前後で推移していたが、平成19年度はさらに減少している。
- ⑥一人一日当たり配水量は、一日平均配水量を給水人口で割ったもので、平成19年度は配水量の減少に伴って約322ℓとなっている。
- ⑦有効水量は、配水量のうち水道事業の運営上有効と見られる水量で、平成15年度以降の有効率は95%を超えている。
- ⑧有収水量は、年間の料金徴収の対象となった水量をいうが、有収水量は1,680万m³前後で、有収率については平成19年度を除き93%前後で推移している。
- ⑨総収支比率は、総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、平成16年度以降は110%を確保し、概ね健全な経営となっている。
- ⑩営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この10年間の平均は113%となっている。
- ⑪経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、平成17年度以降は111%を上回っている。
- ⑫供給単価は、有収水量1m³当たり、どれだけの収益を得ているかを表すもので、平成11年度以降は1m³当たり160円前後となっている。
- ⑬給水原価は、有収水量1m³当たり、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、平成15年度から160円台で推移していたが、平成19年度は159円台になっている。
- ⑭料金回収率は、給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合を表しているが、ここ2、3年では平成17年度と平成19年度が100%を上回っている。
- ⑮施設利用率は、一日当たりの配水能力に対する一日平均配水量の割合を示したもので、水道施設の経済性を判断する指標であり、平成17年度を除き70%前後で推移している。
- ⑯施設最大稼働率は、一日配水能力と一日最大配水量の割合を示したもので、水道事業の施設効率を判断する指標であり、平成17年度を除いて概ね80%前後で推移している。
- ⑰負荷率は、一日最大配水量と一日平均配水量の割合を示したもので、数値が大きいほど効率的であるとされる。平成17年度以降は90%を超えている。

資料3 水量分類の推移

(単位：m³)

種 別		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
配水量		18,436,370	18,631,286	18,422,927	18,281,458	18,111,957	17,878,264	18,237,543	18,171,794	18,174,788	17,699,486
	有効水量	17,331,202	17,429,627	17,316,538	17,202,656	17,236,549	17,028,071	17,370,522	17,381,426	17,408,873	17,218,565
	有収水量	16,932,614	16,984,425	16,907,813	16,798,127	16,829,651	16,635,235	16,969,670	16,966,550	16,857,349	16,838,926
	料金水量	16,932,614	16,984,425	16,907,813	16,798,127	16,829,651	16,635,235	16,969,670	16,966,550	16,853,380	16,832,926
	分水量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他有収水量	0	0	0	0	0	0	0	0	3,969	6,000
	無収水量	398,588	445,202	408,725	404,529	406,898	392,836	400,852	414,876	551,524	379,639
	メータ不感水量	368,727	372,626	368,459	365,629	362,239	357,565	364,751	363,436	363,496	353,990
	局事業用水量	21,762	71,821	39,682	38,366	43,844	34,856	35,704	50,144	185,172	24,350
	その他無収水量	8,099	755	584	534	815	415	397	1,297	2,856	1,299
	無効水量	1,105,168	1,201,659	1,106,389	1,078,802	875,408	850,193	867,021	790,367	765,915	480,921
	調定減額水量	0	9,451	13,506	16,291	14,472	17,253	23,902	23,631	22,722	13,043
	漏水量	15,826	19,464	22,026	15,283	17,298	17,259	16,785	19,311	22,277	17,228
	その他無効水量	1,089,342	1,172,744	1,070,857	1,047,228	843,638	815,681	824,334	747,425	720,916	450,650

※配水量とは、鍵山浄水場から配水される水量及び県営水道から受水する水量すべてをいう。

①配水量は、毎年1,800万m³前後となっている。平成17年度以降は水需要量が落ち込み、特に平成19年度は約1,770万m³と大幅に減少している。

②有効水量は、水道事業の運営上有効と見られる水量で、毎年1,700万m³を上回っている。配水量に対する有効水量の割合は95%程度である。

③無効水量は、水道事業の運営上無効と見られる水量であるが年々減少している。特に、他事業による管破損の漏水量等の減少が顕著となっている。

④有収水量は、料金として又は他会計等からの収入のあるもので、平成17年度までは料金徴収の基礎となった料金水量と一致している。

⑤配水量に対する有収水量の割合は、平成18年度までは93%前後であったが、平成19年度は95%を上回っている。

⑥無収水量は、有効水量のうち当該水量について収入がないもので、平成18年度を除くと、毎年40万m³前後となっている。

⑦メータ不感水量は、有効に使用された水量のうち、各戸メータ不感のため料金徴収の対象とはならない水量のこと。メータ不感率は配水量の2%としている。

⑧局事業用水量は、管洗浄用水や漏水防止作業用水等の事業用に使用した水量で、平成18年度は鍵山浄水場の改築工事等により増加したが、平成19年度は減少している。

⑨その他無収水量は、消防水利（火災消火、防火用水、ポンプ走法訓練等）として使用した水量をいう。

⑩調定減額水量は、赤水等のため料金徴収の際の調定により減額した水量で、申請により漏水と認定した水量を含んでいる。ここ数年は2万3千m³前後であったが減少傾向にある。

⑪漏水量は、送水管、配水管、メータ上流の給水管からの地下漏水で毎年2万m³前後となっている。配水量に対する漏水量の割合は0.1%程度である。

⑫平成19年度は、配水量が大幅に減少したが無効水量も減少したことから、有効水量や有収水量は前年度を若干下回る程度となっている。

資料4 水道ビジョンの目標、基本施策、指標の体系

基本理念を実現するための目標

1 安全な水の安定給水に努めます。

2 災害に強い水道づくりを進めます。

3 環境への負荷の少ない水道を目指します。

4 使用者に信頼される事業を展開します。

5 効率的で安定した事業経営を確保します。

目標ごとの基本施策

- ①おいしさと安全にこだわった水の管理
- ②施設の適切な維持管理
- ③計画的な施設の更新
- ④自己水と県水の安定確保

- ①配水場等の基幹施設の耐震化
- ②送水管や重要幹線となる配水管の耐震化
- ③断水時などの応急給水体制の充実
- ④災害対応能力の向上

- ①水源である入間川の水環境の保全
- ②浄水場等の省エネルギーの推進
- ③配水区域再編成による配水能力の均衡化
- ④環境の配慮した事業活動の推進

- ①使用者の利便性の向上
- ②使用者ニーズの把握と情報公開の推進
- ③宅地内漏水調査の強化
- ④安全でおいしい水道水推進運動の展開

- ①組織や事務事業の見直しによる経費の削減
- ②事業環境の変化に対応した経営基盤の確保
- ③料金体系の見直しによる利用者間の負担の公平
- ④職員の意識改革と計画的な人材育成

目標の達成度を把握するための指標

- ①水道法による水質基準を順守し、水質の向上に努めます。
- ②年間配水量に対する有効水量の割合を97%に高めます。
- ③寺竹配水場の建設を平成29年度までに実施します。
- ④鍵山浄水場の自己水確保率20%を目指します。

- ①扇町屋配水場の耐震化工事を平成24年度までに実施します。
- ②送水管の耐震化率100%を目指します。
- ③重要幹線となる配水管の耐震化率を15%に高めます。
- ④応急給水に必要な資機材の購入や定期的な防災訓練を実施します。

- ①上流自治体等と連携し、入間川の水環境を守る取り組みを行います。
- ②浄水場や配水場等の省エネルギーに配慮した運転に努めます。
- ③配水区域を再編成し、配水能力の均衡化による効率的な配水を進めます。
- ④環境負荷の低減や環境に配慮した事業活動に取り組みます。

- ①口座振替利用率の向上に努めます。
- ②使用者ニーズを把握するため、定期的にアンケート調査を実施します。
- ③水道料金の対象となる有収率95%を目指します。
- ④水道水の安全性やおいしさを伝えるため、効果的な情報発信に努めます。

- ①施設の維持管理や更新の時代に対応できる組織体制を整備します。
- ②事業の収益性を見る経常収支比率が100%以上になっている。
- ③経営状況の健全性を示す料金回収率が100%を上回っている。
- ④職員の資質や組織力を高める取り組みを積極的に推進します。

資料5 新しい配水区域



配水区

	豊岡高区配水区
	豊岡低区配水区
	扇町屋配水区
	東金子配水区
	宮寺配水区
	西武配水区
	入間台配水区
	藤沢配水区
	寺竹配水区

資料6 主な施設整備計画と概算事業費

(税込、単位:万円)

項目	施設名	内容	概算事業費	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
配水場等施設整備	更新	寺竹配水場 期間:平成24~29年度 事業費総額:93,597万円	建設工事	調査費	525		525								
				用地費	6,615			6,615							
				実施設計	2,310				2,310						
				造成費	882					882					
				工事費	81,480					24,444	24,444	32,592			
				工事監理	1,785					525	525	735			
	保全	扇町屋配水場 期間:平成22~31年度 事業費総額:55,440万円	耐震化工事	実施設計	1,260	1,260									
				工事費	44,100		22,050	22,050							
				工事監理	945		472	473							
			修繕工事	設備改修工事費	7,140			7,140							
				直流電源オーバーホール	1,050			315							735
				蓄電池交換	945			315					630		
		豊岡配水場 期間:平成24~26年度 事業費総額:59,619万円	改修工事	実施設計	1,659			1,659							
				工事費	56,700				28,350	28,350					
				工事監理	1,260				630	630					
		東金子配水場 期間:平成29~31年度 事業費総額:4,515万円	修繕工事	ポンプオーバーホール	2,520								840	840	840
				直流電源オーバーホール	1,050										1,050
				蓄電池交換	945								945		
		藤沢配水場 期間:平成22~23年度 事業費総額:3,045万円	修繕工事	ポンプオーバーホール	1,680	840	840								
				直流電源オーバーホール	420	420									
蓄電池交換	945			945											
鍵山浄水場 期間:平成23~31年度 事業費総額:13,965万円	修繕工事	ポンプオーバーホール	2,520								840	840	840		
		直流電源オーバーホール	1,050										1,050		
		蓄電池交換	945								945				
		活性炭入替	9,450				4,725	4,725							
入間台加圧場 期間:平成23~27年度 事業費総額:1,491万円	修繕工事	ポンプ盤インバータ交換	966		966										
		直流電源オーバーホール	315					315							
		蓄電池交換	210						210						
解体	西武第一配水池	修繕工事	直流電源、蓄電池交換	105							105				
解体	小谷田配水場	解体工事	工事費	3,780	3,780										
小計			235,557	7,245	24,328	32,477	40,320	36,330	26,061	24,969	37,632	1,680	4,515		
管路整備	更新	布設工事	東金子配水場~南峯配水池	56,700			11,340	11,340	11,340	11,340	11,340				
			西武第一配水池~市道幹48号線	8,400									4,200	4,200	
			豊岡低区、西武区域	8,400									4,200	4,200	
			石綿セメント管	1,890	945	945									
	老朽管更新	硬質塩化ビニール管	25,200	5,520	5,300	5,300	1,390	1,390				3,150	3,150		
小計			100,590	6,465	6,245	5,300	12,730	12,730	11,340	11,340	11,340	11,550	11,550		
合計			336,147	13,710	30,573	37,777	53,050	49,060	37,401	36,309	48,972	13,230	16,065		

資料7 財政計画策定にあたっての人口、配水量等の予測

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
将来人口(人)			150,158	150,190	149,818	149,446	149,074	148,702	148,328	147,589	146,850	146,111
人口減少割合(%)			99.67	99.69	99.44	99.19	98.95	98.70	98.45	97.96	97.47	96.98
普及率(%)	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95	99.95
給水人口(人)	150,585	150,585	149,587	150,115	149,743	149,371	148,999	148,628	148,254	147,515	146,777	146,038
年間配水量(m ³)	17,549,467	17,500,000	17,442,250	17,445,750	17,402,000	17,358,250	17,316,250	17,272,500	17,228,750	17,143,000	17,057,250	16,971,500
うち自己水(m ³)	2,895,590	2,975,000	3,139,605	3,140,235	3,306,380	3,298,068	3,463,250	3,454,500	3,445,750	3,428,600	3,411,450	3,394,300
うち県水(m ³)	14,653,877	14,525,000	14,302,645	14,305,515	14,095,620	14,060,182	13,853,000	13,818,000	13,783,000	13,714,400	13,645,800	13,577,200
自己水の割合(%)	16.5	17.0	18.0	18.0	19.0	19.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
県水の割合(%)	83.5	83.0	82.0	82.0	81.0	81.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
一日平均配水量(m ³)	48,081	47,945	47,787	47,666	47,546	47,557	47,442	47,193	47,202	46,967	46,732	46,370
一人一日当たり配水量(ℓ)	319	318	319	318	318	318	318	318	318	318	318	318
有効水量(m ³)	16,990,423	16,975,000	16,918,983	16,922,378	16,879,940	16,837,503	16,796,763	16,754,325	16,711,888	16,628,710	16,545,533	16,462,355
有収水量(m ³)	16,621,761	16,450,000	16,570,138	16,573,463	16,531,900	16,490,338	16,450,438	16,408,875	16,367,313	16,285,850	16,204,388	16,122,925
有効率(%)	96.81	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00
有収率(%)	94.71	94.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00

□策定にあたっての基本的な考え方

※平成20年度は実績値を、平成21年度は当初見込み値を使用している。

①将来人口は、入間市行政改革長期プラン前期実行計画を策定するために、平成18年に市企画課が算出した人口推計を使用している。

②人口減少割合は、平成20年度末の人口150,659人に対する人口推計の減少割合を示している。

③普及率は、これまでと同様に推移することが見込まれることから、毎年度、99.95%としている。

④給水人口は、将来人口に普及率99.95%を乗じている。

⑤年間配水量は、平成20年度の年間配水量約1,750万m³を基本として、将来人口の人口減少割合を乗じている。

⑥自己水の割合は、埼玉県企業局との協議に基づいて、平成22、23年度が18%、平成24、25年度が19%、平成26年度以降は毎年度20%としている。

⑦有効水量は、ここ数年の実績等を踏まえて、毎年度、年間配水量の97%としている。

⑧有収水量は、有効水量と同様に、ここ数年の実績等を踏まえて、毎年度、年間配水量の95%としている。

□人口、配水量等の予測内容について

①将来人口は、平成26年度が149,074人、平成31年度が146,111人となり、平成31年度は平成20年度に比べ4,548人の減少が見込まれる。

②給水人口は、平成26年度が148,999人、平成31年度が146,038人となり、平成31年度は平成20年度に比べ4,546人の減少が見込まれる。

③年間配水量は、平成26年度が約1,731万6千m³、平成31年度が1,697万2千m³となり、平成31年度は平成20年度に比べ約57万7千m³の減少が見込まれる。

④一日平均配水量は、平成26年度が47,442m³、平成31年度が46,370m³となり、平成31年度は平成20年度に比べ1,711m³の減少が見込まれる。

⑤有収水量は、平成26年度が約1,645万m³、平成31年度が約1,612万3千m³となり、平成31年度は平成20年度に比べ約49万9千m³の減少が見込まれる。

資料8 水道ビジョンの財政計画

(税込、単位：万円)

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
収益的 収入・ 支出	1 事業収益	300,531	300,582	299,952	324,234	323,574	323,484	322,797	321,450	320,104	318,751	3,155,459
	営業収益	299,074	299,125	298,495	322,777	322,117	322,027	321,340	319,993	318,647	317,294	3,140,889
	給水収益	278,016	278,067	277,437	301,719	301,059	300,372	299,685	298,338	296,992	295,639	2,927,324
	その他の営業収益	21,058	21,058	21,058	21,058	21,058	21,655	21,655	21,655	21,655	21,655	213,565
	営業外収益	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	14,570
	2 事業費	298,809	293,699	298,531	292,590	295,401	285,635	282,430	284,645	279,968	281,347	2,893,055
	営業費用	281,154	277,851	283,095	277,014	279,650	269,407	266,135	268,826	262,106	263,244	2,728,482
	原水及び浄水費	113,227	116,525	116,525	121,250	121,250	116,525	116,525	118,310	117,365	117,470	1,174,972
	配水費	41,141	40,742	46,707	38,936	39,251	38,546	38,336	40,856	39,176	40,961	404,652
	給水費	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	15,564	155,640
	委員会費	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	600
	業務費	13,462	13,462	13,462	13,462	13,462	12,862	12,862	12,862	12,862	12,862	131,620
	総係費	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	92,290
	減価償却費	78,742	78,869	78,148	75,113	73,291	73,221	70,159	68,545	64,450	63,698	724,236
資産減耗費	9,729	3,400	3,400	3,400	7,543	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	44,472	
営業外費用	17,655	15,848	15,436	15,576	15,751	16,228	16,295	15,819	17,862	18,103	164,573	
小計（事業収益－事業費）	1,722	6,883	1,421	31,644	28,173	37,849	40,367	36,805	40,136	37,404	262,404	
資本的 収入・ 支出	3 資本的収入	7,752	60,787	63,121	63,460	63,460	63,858	63,858	63,858	58,858	58,858	567,870
	企業債	0	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	50,000	50,000	475,000
	国庫支出金	0	3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
	出資金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000
	負担金	1,150	1,185	3,519	1,858	1,858	1,858	1,858	1,858	1,858	1,858	18,860
	加入金	5,602	5,602	5,602	5,602	5,602	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	58,010
	4 資本的支出	51,809	74,401	80,972	104,672	101,183	95,306	91,168	101,197	62,768	66,798	830,274
	建設改良費	28,704	49,966	54,356	77,109	72,804	66,840	65,958	74,316	38,049	38,049	566,151
	事務費	7,476	7,476	7,476	7,476	7,476	7,476	7,476	7,476	7,490	7,490	74,788
	配水管改良費	13,892	13,892	16,097	27,437	27,437	27,437	27,437	27,437	24,483	24,483	230,032
	配水場改良費	1,274	22,536	24,721	29,519	31,829	25,865	24,983	33,341	14	14	194,096
	量水器費	340	340	340	340	340	340	340	340	340	340	3,400
	固定資産購入費	5,722	5,722	5,722	12,337	5,722	5,722	5,722	5,722	5,722	5,722	63,835
	企業債償還金	23,105	24,435	26,616	27,563	28,379	28,466	25,210	26,881	24,719	28,749	264,123
小計（資本的収入－資本的支出）	-44,057	-13,614	-17,851	-41,212	-37,723	-31,448	-27,310	-37,339	-3,910	-7,940	-262,404	
合計（事業収益＋資本的収入）－（事業費＋資本的支出）		-42,335	-6,731	-16,430	-9,568	-9,550	6,401	13,057	-534	36,226	29,464	0